

みどり戦略

ビジョン

JAいわてグループ・みどり戦略ビジョンの取り組みの総括について

(令和5年度～令和7年度 第I期)

- JAいわてグループでは、令和3年から始まった「みどりの食料システム戦略」(以下、みどり戦略)の「目指す姿」へ向かうために、令和5年度から令和7年度の3か年を第I期と位置付け、具体的取り組みを22のメニューに整理した「純情産地いわて みどり戦略ビジョン」(以下、みどり戦略ビジョン)の目標達成に向けて取り組みをすすめてきました。
- 第I期として取り組みをすすめた22メニューのうち、21メニューにおいて達成度は「概ね目標を達成できた」、1メニューにおいて達成度は「目標を下回った」と結果になりました。
- 取り組みにあたっては、扱い方法が難しい資材もあるなか年次による目標を達成したメニュー数は令和5年度と令和6年度は19メニュー、最終年となる令

- 和7年度は21メニューとなり、3か年において全22メニューの目標達成には至りませんでした。が、「みどり戦略の目指す姿」に向かって着実に前進できました。取り組みを進めるにあたりご協力いただいたJA・生産者のみなさまに感謝申し上げます。
- 令和8年度から令和10年度までの3か年を第II期として、「持続可能な農業」の実現に向けて、営農活動における環境負荷低減や省力化の取り組みを進めていきます。
- また、「みどり戦略ビジョン」の3本の柱「脱炭素」「環境保全」「持続可能な農業生産」の実現に向けた取り組みと併せて、JAとともに「ひと」と「環境」にやさしい本県の農畜産物生産の取り組みについて、消費者や実需者に向けた情報発信を強化していきます。

【取組方針】

「純情産地いわて みどり戦略ビジョン」3つの柱



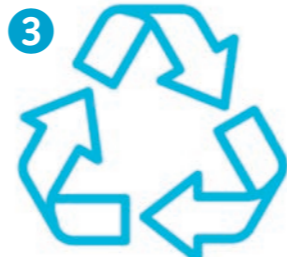
① 脱炭素

カーボンニュートラルに向けた温室効果ガスの抑制や、園芸施設および農業機械の石油燃料利用の削減をはかるため、スマート農業などの新しい技術・手段を活用し「脱炭素」に向けて具体策を実行します。



② 環境保全

化学肥料・農薬の使用量低減に向けて、特別栽培の継続や未利用資源の活用、耕畜連携強化による堆肥利用など、輸入原料に大きく依存しない手法を確立・実践し「環境保全」に寄与します。



③ 持続可能な農業生産

GAP認証取得や農作物の栽培技術向上に取り組み、将来に繋げる「持続可能な農業生産」の構築を目指します。

第I期の総括

達成度	メニュー数	備考
概ね目標を達成できた	21	
目標を下回った	1	17.Z-GISの利用促進

【重点的な取り組みの総括】

No.	メニュー	主な成果
1	土壌診断による適正施肥	<ul style="list-style-type: none"> ・くみあい肥料と連携し農家推進時に土壌診断の提案を行い適正施肥の取り組みを促進しました。 ■ R7 : 4,474件 (R6 : 5,323件、R5 : 6,142件)
2	耕畜連携による資源循環	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル農家との取り組みによるWCS作付け面積を拡大しました。 ■ R7 : 11.5ha (R6 : 5.3ha、R5 : 2.6ha) ・西和賀地域では稲WCS 1,600ロール(うち専用品種 650ロール)を生産し、2戸の酪農家に販売斡旋しました。
3	水稲栽培における「秋耕」の実施、またはそれに準じた取り組み実施	<ul style="list-style-type: none"> ・全JAの栽培記録簿に「秋耕」のチェック項目が追加されました。 ・JA座談会や指導会、実績検討会等の機会に「秋耕」実施を促進しました。 ・令和7年産米におけるJクレジット対象の「中干し延長」の取り組み状況は以下のとおりです。 ■ 経営体数 131件 ■ 申請面積 2,405ha
5	特別栽培や省農薬・省化学肥料による生産	<ul style="list-style-type: none"> ・生産量・集荷量ともに減少しましたが、資材高騰に伴うコスト増高分の価格転嫁をすすめました。 ・りんどう・きゅうり・ピーマン等ではバイオスティミュラント資材(BS資材)を活用した栽培検証のための協議会を組織し、JA・本会による実証試験を行いました。
8	農業用プラスチックの排出抑制	<ul style="list-style-type: none"> ・被覆肥料の代替施肥実証試験結果としては、慣行LP肥料の10～15%程度減収となりました。 ・代替原料による試験結果を共有するとともに、次年度以降の対応について2JAと協議を実施しました。 ・ドローンによる追肥に対応したBB専用肥料の推進も継続しました。
10	集乳事業の一元化	<ul style="list-style-type: none"> ・集乳路線合理化による積載率の改善が図られました。県内の他地区でも路線合理化に向けた検討が開始されています。
13	xarvio(ザルビオ)の活用 環境モニタリング機器等の導入促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ザルビオは主に水稲農家で地力マップ活用による可変施肥や、AIによる病害虫発生予測に活用されています。 ・Z-GISはJAと共に導入済み経営体へのフォローを実施しました。 ■ ザルビオ 126件(推定普及面積 4,127ha) ■ Z-GIS 132件(推定普及面積 8,042ha)
17		Z-GISの利用促進
18		V-NeKHsの活用促進
16	省力化器具・手法の活用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ピーマンの収穫ロボットを含めた省力化技術の取り組み内容について、各会議等を活用し共有しました。 ・高温対策資材については、対象資材の拡大による助成を検討しました。 ・草地肥料推進時を中心としたラウンドアップULV5ノズルの紹介、ダイロン・ザクサの普及を目的とした農家注文書の作成配布を実施しました。 ・ドローン購入済み生産者に対するBBドローン追肥の紹介を行いました。 ・ドローン請負作業は、水稲直播や農薬・肥料・遮光材散布等で受託面積が75haとなりました。
20	効率的な輸送体系の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・米穀の一貫パレチゼーション250ト(紙袋輸送の2%)、フレコン輸送は、39,739トン(全体の53.7%)となりました。 ・園芸では11型レンタルパレットの運用が拡大しました。 ・ミニトマトでは、11型パレットに適合する段ボールおよびバックの箱詰試験・輸送試験を実施しました。 ・しいたけ・レタスは11型レンタル適合段ボールへの切り替えを行いました。
22	取り組みの発信	<ul style="list-style-type: none"> ・県本部広報誌「クララ」にみどり戦略ビジョンに関連する記事を掲載し、内外にその取り組みを発信しました。 ・JA広報誌に「バイオスティミュラントの取り組み」が掲載され、広く情報発信することができました。



営農支援部
営農技術課

中南 博

水稻の紋枯病 効率的な箱施用剤による インターバル防除

◆発生動向と被害

近年、紋枯病が目立つとの声を聞きます(写真)。県病害虫防除所の調査によると、平成26年以降発生圃場率が高い状態が続いています。

令和7年は、干ばつの影響を受けた地域があり、発生程度の高い圃場は前年より少なかったものの、翌年の防除が必要と考えられる発病度※10を超える圃場は約3割でした。

紋枯病は、高温多雨の年に多発する傾向にあり、病斑が上位の葉鞘に進展するほど、稔実歩合及び千粒重が低下します。また、茶米や死米が増加し、品質にも影響します。

※発病度：発病葉鞘等の基準により程度別株数を調査して算出。発病度20以上で減収。

◆本田での防除要否の判断

本田では、穂ばらみ末期(7月末～8月上旬)に畦畔際を調査し、発病株率が早生～中生種で15%、晩生種で20%以上の場合、出穂直前までに必ず防除するよう指導しています。

常発地では、紋枯病に効果の高い育苗箱施用剤により、葉いもちや初期害虫との同時防除が効率的です。

◆箱施用剤によるインターバル防除の可能性

箱施用剤による紋枯病防除を実施し、9月収穫期の発病度が10～13未満(例：発病株率20%未満、かつ病斑の大部分が第2葉鞘以下)と低い場合には、翌年の防除を省略できます。

令和6・7年に、県央の多発圃場で箱施用剤2剤(ブーンレパード箱粒剤、スタウトアレスモンガレス箱粒剤)による防除試験を行いました。

令和6年は、無処理の発病度40～42に対し、箱施用剤2剤の発病度は20～22と減収



止葉葉鞘まで発生した紋枯病

を回避できるレベルまで発病を抑制しました。

同一圃場で連用した令和7年は、両剤とも発病度10以下で、翌年の防除を省略できる発病度に達しました(表)。

発病度が10以下の圃場は、数年間、低発病度が維持されるという知見もあるので、これら試験圃場は、何年間無防除(インターバル)が可能となるか、推移を観察していきます。

表 箱施用剤の2年連用による紋枯病防除効果(2024～2025)

供試薬剤 (紋枯病有効成分)	調査項目	2024年		2025年	
		穂ばらみ 末期	収穫期	穂ばらみ 末期	収穫期
ブーンレパード箱粒剤 (ベンフルフェン)	発病株率%	● 35.3	● 67.2	● 23.8	● 37.4
	発病度	● 5.0	● 20.3	○ 0.3	○ 9.4
スタウトアレス モンガレス箱粒剤 (インピルキサム)	発病株率%	● 34.7	● 64.7	● 21.2	● 23.5
	発病度	● 3.5	● 21.7	○ 0.3	○ 9.5

●：防除必要 ○：防除不要
(防除要否：穂ばらみ末期の発病株率15%以上、収穫期の発病度10～13以上)

◆箱施用剤による防除のポイント

箱施用剤の使用量は、1箱当り50g(高密度播種は1kg/10a、1箱当り50～100g)ですが、減らして使用していませんか？

県内における箱施用剤による防除試験結果を見ると、10a当たり使用量が少ないと、防除効果が低くなる傾向が見られます(図)。

確実に発病度を低下させるため、農業に表示されている使用量どおりに施用することが大切です。

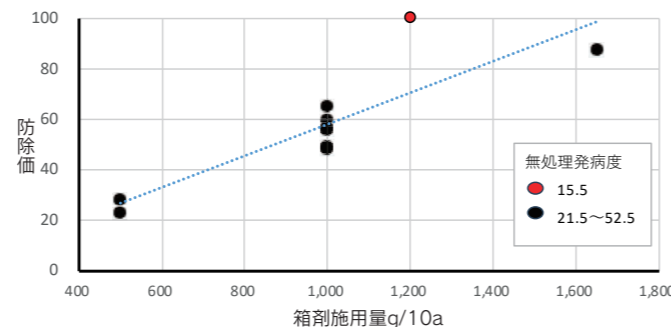


図 箱剤施用量と紋枯病防除率(2018～2025 岩手県内)
※防除率：100-(処理区の発病度/無処理の発病度)×100

「純情産地いわて」が目指す「理想像」その3つの柱。

「つなげる」

いわての農業を継承し、
価値を高め、
未来へ繋げる。



令和8年度花き販売対策会議

令和8年6月4日(木)

本会は6月4日、盛岡市のホテルで令和8年度花き販売対策会議を開催しました。県産花きの生産・流通・販売における現状や問題、対策の報告、また情報の共有を目的とし、各JA、代表生産者や、運送事業者、市場関係者などが出席しました。

安定的・効率的な物流を確保するため、昨年度に引き続き、市場をストックポイントにして市場間物流を有効活用する「市場気付輸送」や、出荷市場の集約、積み下ろしの時間を短縮できるパレット輸送の試験に取り組みます。

また販売対策として、市場やフラワーショップと連携した販促フェアや「いわてフラワーコンテスト2026」の開催、ラジオやSNSを活用した情報発信を行う予定です。



市場の状況を説明するJF鶴見花きの松本大二郎取締役営業本部長

「牛乳の日」に合わせて大学や駅で無料配布

令和8年6月1日(月)

本会は「世界牛乳の日」とされる6月1日、岩手県の酪農および牛乳への理解・関心を高め、消費拡大につながることを目的に岩手県産の牛乳パックを、県内の大学3校と駅2か所で配布しました。

岩手大学では午前中の講義が終わる頃に配り始め、正午過ぎには全ての牛乳が学生に手渡されました。受け取った学生の一人は「実家ではよく飲んでいましたが、一人暮らしを始めてからはあまり飲まなくなった。これをきっかけに意識して岩手の牛乳を飲みたい」と話しました。

畜産酪農部の大津信一専任部長は「大学生は学校給食がなく、親元を離れることで牛乳離れが急速に進む傾向がある。岩手県産牛乳の美味しさを改めて実感してもらい、『いわての牛乳ファン』を増やすきっかけにしたい」と語りました。



学生に牛乳を手渡しするいわて純情産地遠藤桜さん

「ひろげる」

生産者とともに、
その想いを
消費者の食卓へと
広げる。



生産者団体組合員親子が「生きもの調査」を体験

令和8年5月23日(土)

神奈川県を拠点とする生活協同組合ユーコープが、組合員と生産者が直接ふれあうことで食と農への理解を深めることを目的に実施する「組合員交流会(産地交流)」にあわせて、環境と農業の関わりや、生物多様性保全の大切さを感じ取ってもらう活動として全農が取り組む「生き物調査」を実施しました。奥州市での産地交流には、生協組合員の親子3組や生産者、JA関係者らが参加し、特別栽培米「ひとめぼれ」の田んぼで、生きもの調査や手作業による田植えを体験しました。参加した子どもたちはザリガニやカエルなどを捕まえて観察し、農業や自然環境への理解を深め、保護者からは「今回の経験をつうじて産地への関心が高まり、産地を選んでお米を食べたい」といった声が聞かれるなど、消費者と生産者の相互理解が深まる場となりました。



参加したユーコープ組合員親子で記念撮影

「根を張る」

地域社会の
一員として、
強く根を張る。



純情ブランド消費地の「今」をレポートします。

消費地だより



畜産販売課 東京駐在
木村 丈治

令和8年度 岩手県育種組合枝肉共励会

5月12日、東京食肉市場において「令和8年度岩手県育種組合枝肉共励会」が去勢18頭・雌15頭の計33頭で開催されました。このイベントは、岩手県種雄牛を利用促進し「いわて牛」ブランドの更なる強化・確立と肥育技術向上のため、県央地方・県南地方のそれぞれの肉牛生産農家の肥育技術研鑽及び生産意欲の向上を図ることを目的として、岩手県内で生産され2代祖までに県有種雄牛が含まれていることを出品資格として定め開催しています。

最優秀賞は、岩手江刺農協のヒラタ牧場(株)が受賞され、3,522円の枝肉単価がつけました。血統は父「夏百合」、母の父「来待招福」、祖母の父「百合茂」でした。

最優秀賞牛は雌で、枝肉重量465kg、格付A5・BMS No.12、ロース芯面積85cm²、バラの厚さ8.5cm。審査講評では、「JA全農ミートフーズ(株)東日本営業本部牛肉営業部市場課の小関課長より「出品牛全体的に岩手らしい質の良い枝肉が揃っていた。最優秀賞牛については、肉テリ・脂質が素晴らしく、体形も雌らしく良い枝肉だった」との

講評を頂きました。

日頃から手塩にかけた牛への想いと生産者のひたむきな努力が結果として現れ「いわて牛」が当日の最高値を記録し、上物率100%を達成しました。

野球界では、岩手県出身のメジャーリーガーが活躍しています。畜産業界からも、《脂肪交雑・枝肉重量・脂肪の質》の能力が高い期待の「三刀流」岩手県種雄牛「菊美翔平(きくみしょうへい)」がこれからの畜産県岩手を盛り上げ、活躍することを期待しています。生産者の皆様にはぜひ県有種雄牛をご活用いただき、全国へさらに高品質な「いわて牛」を届けていきましょう!

購買者の方々からは、「『いわて牛』を毎日仕入れたいからもっと芝浦上場を増やして欲しい!」との熱い要望や取扱推奨店の方々からは「『いわて牛』のファンなので是非消費者に食べてほしい!」とご好評いただいております。取扱店舗は首都圏のみならず全国各地に年々増加しています。これからも求められる「いわて牛」そして、食べて美味しい「いわて牛」の魅力を手首圏から全国へ発信し続けていきます。

入賞区分	JA	氏名	性別	枝肉重量	単価	販売金額
最優秀賞	岩手江刺	ヒラタ牧場(株)	雌	465 kg	@3,522	¥1,637,730
優秀賞	岩手ふるさと(胆沢)	佐々木 康夫	去勢	560 kg	@3,036	¥1,700,160
優秀賞	花巻(北上)	千葉 洋喜	去勢	570 kg	@2,801	¥1,596,570
優良賞	岩手ふるさと(前沢)	小野寺 明弘	去勢	600 kg	@2,699	¥1,619,400
優良賞	いわて平泉	皆川 真武	去勢	564 kg	@2,748	¥1,549,872
優良賞	花巻(北上)	(株)西部開発農産	雌	444 kg	@2,850	¥1,265,400

販売成績	頭数	平均枝肉重量	平均販売単価	平均販売金額	上物率
今回成績	33頭	495kg	@2,630	¥1,301,074	100%
前回成績	32頭	503kg	@2,467	¥1,240,600	96.8%



最優秀賞牛(枝肉写真)



最優秀賞に輝いた
ヒラタ牧場(株)

岩手県有種雄牛「菊美翔平」

1黒199 きくみしょうへい 第1回岩手県有種雄牛大会7代最優秀種雄牛

菊美翔平

登録番号: 黒15705(82.1)
生年月日: 平成31年3月25日
産地: 奥州市
繁殖者: 小野寺 明弘氏
個体識別番号: 1602861488
遺伝子型検査: 骨格組大位【SD】+

現場後代検定の去勢のロース芯面積において本県歴代最高成績を大幅に更新。BMSNo.12率は驚異の50%と高い安定感を示しました。脂肪交雑値は第3位を獲得。枝肉重量、バラの厚さ、脂肪酸組成いずれもH評価で、サシ・量・くちけの三刀流が期待されます。

育種値	育種値	育種値
育成率	2.41 H	ロース芯
脂肪交雑	3.16 H	バラ厚
歩留	-0.68 C	皮下脂肪
皮下脂肪	-2.36 C	脂肪酸組成

現場後代検定成績 (R4.4.5~R6.2.18)

項目	平均	最良	最悪	標準	順位
体重	537	71.5	8.8	3.2	75.0
枝肉重量	522	66.0	8.9	3.2	74.6
ロース芯面積	80.9	10.6	56.4	62.2	100
BMSNo.	12.0	10.3	57.9	64.3	100

●去勢 28.1ヶ月	●母の血統: 夏百合×百合茂
●枝肉重量 637 kg	●ロース芯面積 106cm ²
●バラの厚さ 9.6cm	●BMSNo. 12
●去勢 28.5ヶ月	●母の血統: 菊美翔平×第1花岡
●枝肉重量 531 kg	●ロース芯面積 81cm ²
●バラの厚さ 10.8cm	●BMSNo. 12



2026いわて純情むすめが決定しました。
令和8年7月から令和9年6月までの1年間、県内外の活動を通して、「純情産地いわて」の農畜産物を全国へPRします!

- 1 趣味・特技
- 2 好きな農畜産物
- 3 純情むすめになったの意気込み

高久 藍

●趣味: 韓国ドラマの鑑賞
韓国に興味があり、日常会話レベルの韓国語であれば聞き取ることができます。特技: ホルンの演奏
吹奏楽部において、現在もホルンを担当しています。

●「お米」
岩手のお米のもちもちとした食感や美味しさに感動しました。岩手のお米のファンになり「毎日食べたい」と心から思います。

●いわて純情むすめとして、岩手県の魅力や色んな活動地で発信し、まだ魅力を知らない人へ届けていきたいです。生産者のみなさんの想いやこだわりを学び、消費者のみなさんへ繋ぐ架け橋になれるよう、盛り上げていきます。元気に精一杯頑張ります! 1年間よろしくお願いたします!

金山 和希

●趣味: 編み物
最近は編みぐるみや小物を、空いている時間に作り、たのしんでいます。特技: バスケットボール
小学生の頃から現在まで長年続けており、体力には自信があります。

●「お米」
岩手のお米は粒がしっかりしていて甘みがあり、とてもおいしいです、そのまま頂いてもおいしいですが、どんなおかずとも相性が良く、ついご飯が進んでしまいます…!

●いわて純情むすめとして活動させていただけることとなり、大変光栄に思います。私は岩手の豊かな自然や人の温かさ、そしておいしい農畜産物が大好きです。活動を通して岩手の魅力を県内外の皆さまにお伝えできるよう、笑顔で精一杯活動してまいります。1年間よろしくお願いたします!

千田 琴乃

●趣味: お菓子作り
特技: 長距離走

●「トマト」
昔から甘くみずみずしいトマトが大好きでよく食べていました。岩手県産のトマトは酸味もあり、味も濃く、始めて食べた時は感動し、さらにトマトが好きになりました。

●いわて純情むすめを選んでいただき、嬉しく思います。岩手県での暮らしを始めては1年、沢山の魅力に触れてきました。純情むすめになって見つけた魅力と合わせて様々な場所で沢山の岩手県産の農畜産物をPRしていきたいです。他の純情むすめのみならず活動を支えてくださる方々との繋がりを大切に、感謝と笑顔で絶やすことなく岩手の魅力を自分の言葉で発信していきますので1年間よろしくお願いたします!

菊池 理子

●趣味: アニメ鑑賞
バトル系が好きで、休日は一日中見えています。特技: バドミントン
小〜大学生まで部活動をしていました。

●「しいたけ」
岩手県産のしいたけは、肉厚で食べ応えがあり、焼いても煮ても美味しく味わえます。キノコとは思えないほどの厚みと存在感があり、豊かな風味が魅力だと思います!

●まずは、選んでいただいたことを大変嬉しく思います。何の畜産物をとっても一級品である岩手県。その素晴らしい魅力や生産者の皆さまの想いを、一人でも多くの方に届けられるよう、精一杯活動してまいります。

中村 莉来

●趣味: 音楽鑑賞
好きなアーティストがいて、日常的に音楽を聞いています。ライブに行くことも好きです。特技: アナウンス
高校生のとき野球部のマネージャーをしていて、試合のアナウンスをやっていたから、今でも声をかけていただいたときはやっています。

●「りんご」
甘くてシャキッとしていてとてもおいしいです。岩手県では多くの品種が生産されているため、1年を通して長い期間おいしいりんごを食べることができてうれしいです。

●いわて純情むすめとして活動できることを大変嬉しく思います。岩手県産畜産物についてもっと知り、味だけではなく皆さんの魅力や活動を支えてくださる方々への繋がりを大切に、感謝と笑顔で絶やすことなく岩手の魅力を自分の言葉で発信していきますので1年間よろしくお願いたします!



新規ご契約 プレゼントキャンペーン

JAでんき新規お申し込み いただいた方へ

デリシャスハンバーグ
4種セットプレゼント!



(セット内容:デミグラスソース、カレーソース、とまとソース(チーズ入り)、和風ソース各125g×1P)

※本キャンペーンは予告なく終了する場合がございます。お早めにご検討ください。
※特典内容は変更となる場合がございます。



組合員のみなさまが日々ご利用されている電気の

料金をお安くするために、JAグループが取り扱う電気メニューです。
切り替え簡単、JA口座をそのままご利用できます。



■お問い合わせ (JA代理事業者)

- JAいわて中央 燃料課
Tel.019-697-6446
- (株) E-ポート ガス課
Tel.0197-35-7874
- JAいわて平泉 ガスセンター
Tel.0191-34-5701
- JAおおふなと 生活経済課
Tel.0192-26-4044

● (株) JAグリーンサービス花巻

- LPGセンター花巻
Tel.0198-31-3200
- LPGセンター北上
Tel.0197-68-4800
- LPGセンター西和賀
Tel.0197-85-3332
- LPGセンター遠野
Tel.0198-62-5394
- LPGセンター大槌
Tel.0193-42-2668

JAでんき
ホームページはこちら



ZEG 全農東北エネルギー株式会社

【訂正のお知らせ】

クララ6月号の裏表紙において、「JAいわてグループ農業機械フェア2026」の開催場所について誤りがありました。(誤)JA江刺本店 特設会場
右記のとおり訂正し、お詫びいたします。(正)JA江刺本所 特設会場

編集後記

2026いわて純情むすめが決定しました!

これから1年間、「純情産地いわて」の魅力をPRしてまいります。ぜひ応援をよろしくお願いいたします。(仲村)

KLARA

タイトルのKlara(クララ)は、宮沢賢治の手帳にしている言葉で、エスペラント語で「晴」「暖かい」を意味します。
全農の未来がそして世の中の全てが、明るく晴れやかにという願いが込められています。



私たち全農グループは、
**生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋**
になります。

— 私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

JA全農いわて 純情ブランド推進室
JA全農いわてホームページ

〒020-8605 盛岡市大通一丁目2番1号 TEL019-626-8629 FAX019-626-8634

<https://www.junjo.jp>

